

日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会 PRA 品質確保分科会  
第 32 回会合議事録

日時：2020 年 1 月 17 日（金）13:30～17:00

場所：電力中央研究所大手町地区（大手町ビル 7 階）734 会議室

出席者（敬称略）

委員：桐本主査（電中研），藤崎幹事（関電），倉本（NEL），田中（MHI）  
二木（東電），杉原（原電），織田（日立 GE、曾根田代理），玉木（中部電），  
日高（テプシス），村田（JANSI），吉田（JAEA）

11 名出席

常時参加者：山本（原電エンジ）

1 名出席

傍聴者：なし

欠席委員：糸井（東大），曾根田（日立 GE），小森（東芝）

配付資料：

RK4SC32-1：第 31 回 PRA 品質確保分科会議事録案

RK4SC32-2-1：共通用語定義 2018 英語版の修正について

RK4SC32-2-2：共通用語定義 2018 英語版（技術レポート案）

RK4SC32-2-3：第 79 回標準委員会+第 51 回リスク専門部会議事録(抜粋)

RK4SC32-2-4：標準活動基本戦略タスク 2019 年度第一回 議事録

RK4SC32-3-1：品質確保標準改定 中間報告案

RK4SC32-3-2：品質確保標準 コメント管理表

RK4SC32-3-3：品質確保標準改定案

RK4SC32-4：分科会スケジュール案

RK4SC32-参考 1：分科会名簿

RK4SC32-参考 2：PWROG レポート“Newly Developed Method Requirement and Peer Review”

議事：

1. 定足数の確認

委員 13 名中 11 名が出席しており，本会議が議決に必要な定足数を満足していることが確認された。

2. 前回議事録の確認（RK4SC32-1）

RK4SC32-1 に基づき，第 31 回分科会の議事録を確認し，正式版とすることが了承された。

3. 共通用語定義 2018 英語版について（RK4SC32-2-1,2,3）

RK4SC32-2-1,2,3 に基づき，藤崎幹事から共通用語定義 2018 英語版についてリスク専門部会及び標準委員会の審議経緯が報告された。最終的には，共通用語定義 2018 英語版は技術レポートではなく，日本語の標準と同じ体裁で発行されることになった。

4. 品質確保標準改定の中間報告案について（RK4SC32-3-1,2,3）

RK4SC32-1,2,3 に基づき，藤崎幹事から品質確保標準改定 中間報告案について報告された。主な議論は下記のとおり。

- 本標準のタイトルは，「原子力施設の確率論的リスク評価の共通要求事項に関する実施基準」とする。
- 品質保証の JEAC4111 を呼び出す記載（品質保証活動）は削除する。まえがき，解説，目次についても同様に直す。JEAC4111 は原子力の業務全般に関連していることは明らかであり，あえて本標準で読み込む必要性はない。

- 附属書 C の不適合管理の記載は削除する。構成管理における未対応の記載において、影響の確認で留めるのではなく、意思決定に反映する記載とする。分科会における不適合管理のコメント回答は、構成管理における処置である回答とする。
- 中間報告案については、リスク情報活用検討タスクへ報告し、タスク内で議論したうえで、次回分科会で改めて検討することとする。

#### 5. 次回分科会日程

次回分科会は 4/13（月）PM\*に開催することとした。

※新型コロナウイルス拡大防止のため、6/10（水）に延期

以 上